

薬局を対象とした 後発医薬品アンケート調査 の結果について

水戸保健所後発医薬品使用促進地域協議会

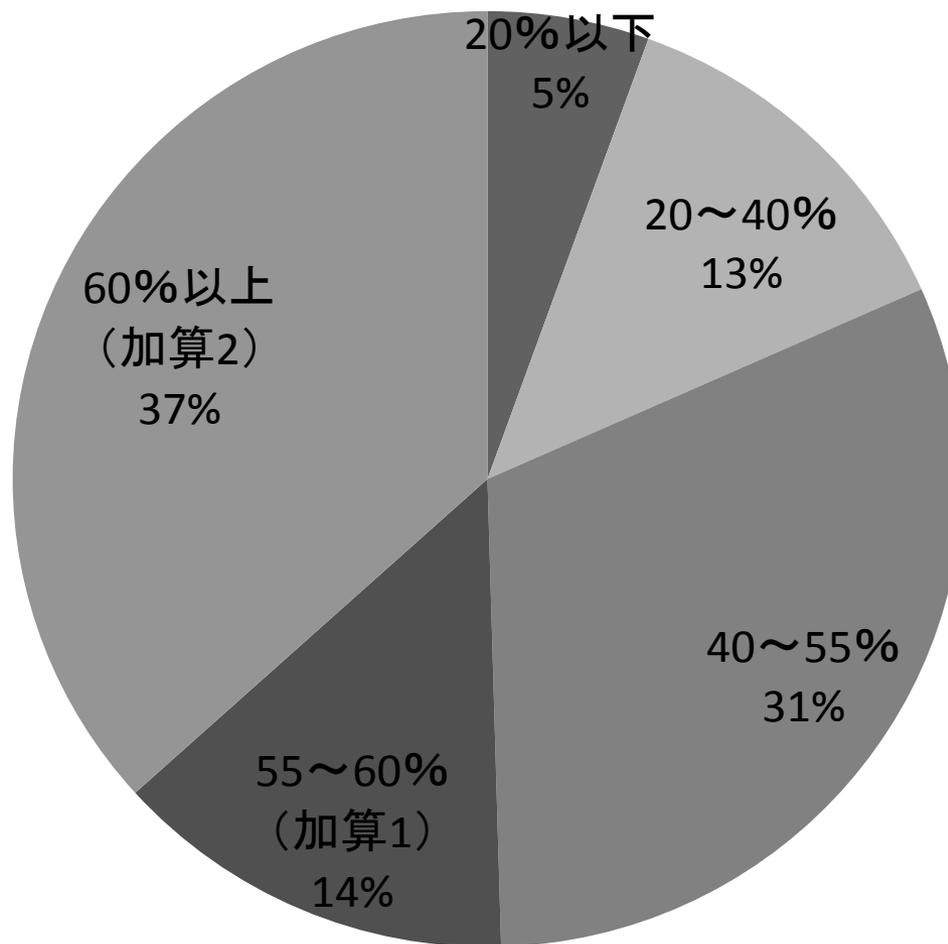
調査方法

- 調査期間 平成28年1月
- 対象 水戸保健所管内の174薬局
- 回答薬局数 109薬局(回答率 62.6%)
- 市町村別回答薬局数
水戸市 67, 笠間市 21, 小美玉市 7,
茨城町 4, 大洗町 3, 城里町 7

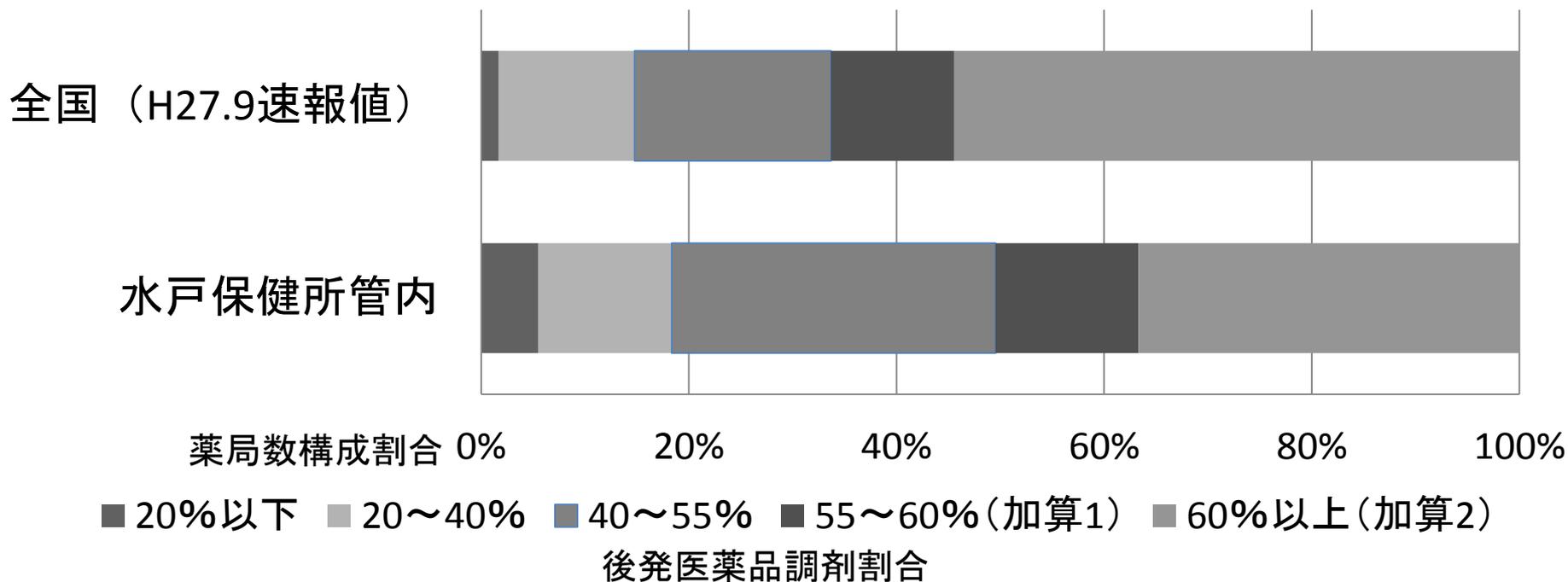
調査方法

- 処方箋枚数
平均 1,230枚 中央値 1,100枚
- 処方箋集中度
平均値 82.8% 中央値 91%
- 主な処方箋発行医療機関
病院 36.7% 診療所 63.3%

後発医薬品調剤割合階級別階級 保険薬局数構成割合

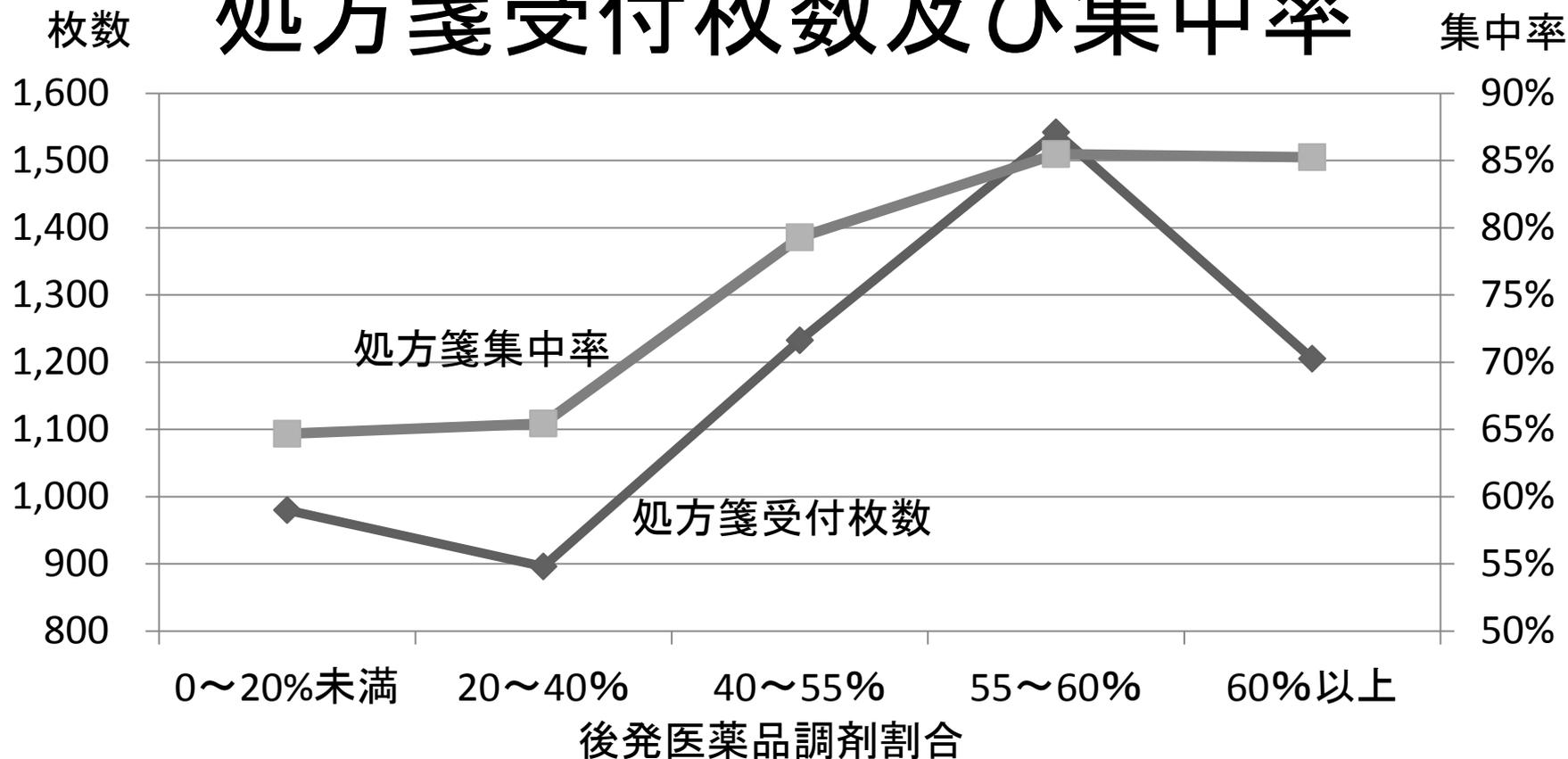


後発医薬品調剤割合階級別 保険薬局数構成割合（全国比較）



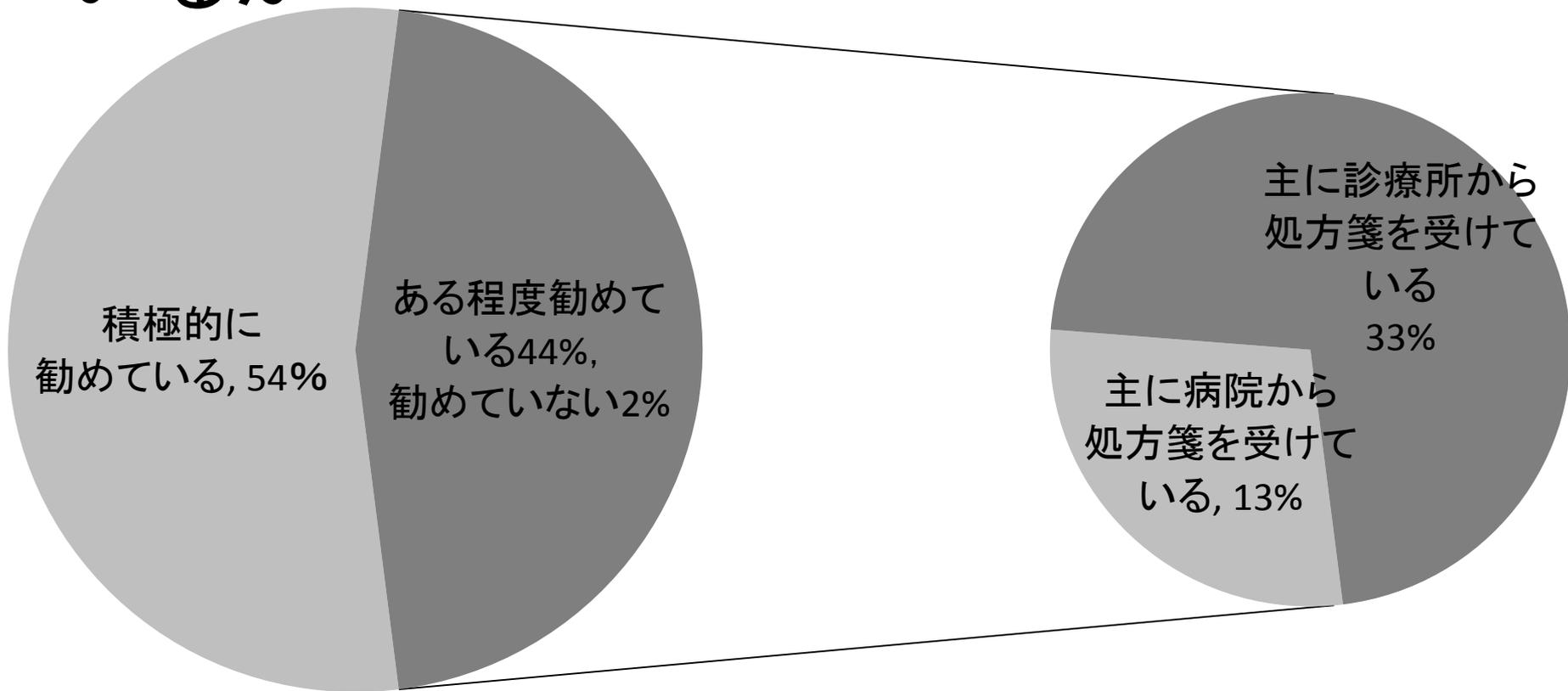
全国と比較して、後発医薬品調剤率55%以下の割合が高い

後発医薬品調剤割合別 処方箋受付枚数及び集中度



- ・処方箋集中度が低い薬局は、後発医薬品調剤割合も低い傾向がある。
- ・処方箋枚数が少ない小規模薬局でも、集中度が高い場合(≡門前薬局)には、後発医薬品調剤割合が高い傾向。

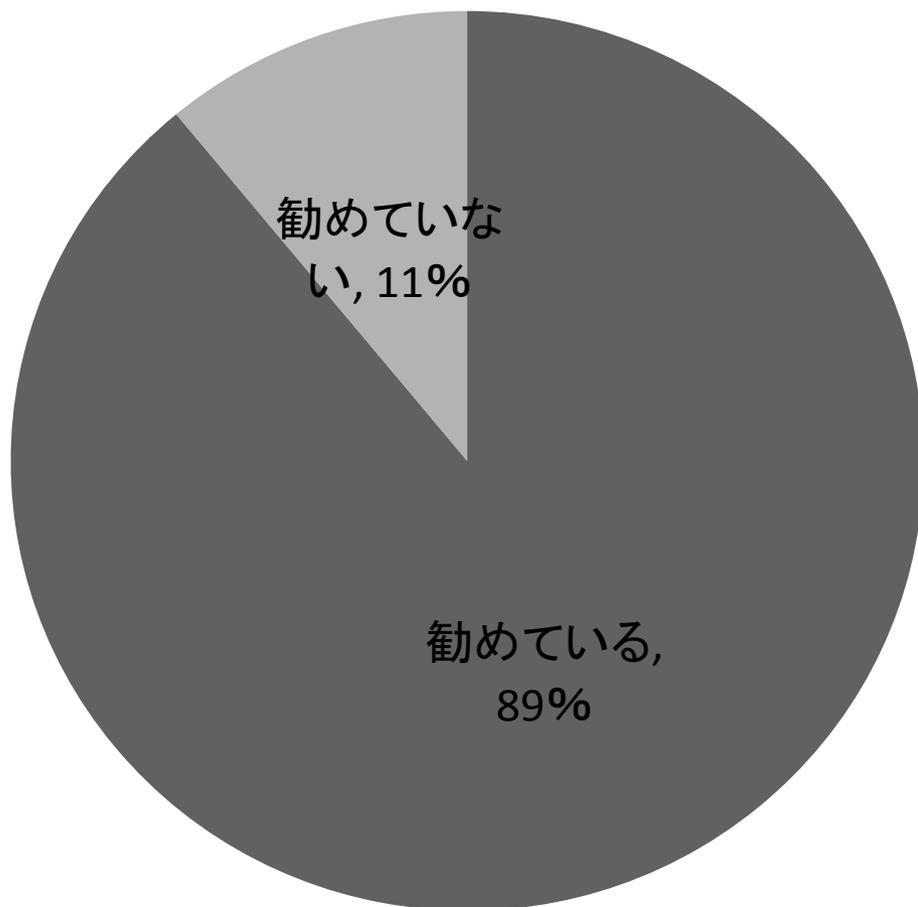
患者に対して、後発医薬品を勧めて いるか



ある程度勧めている、勧めていないと回答した薬局は、診療所から処方箋を受けている薬局が、比較的多い。

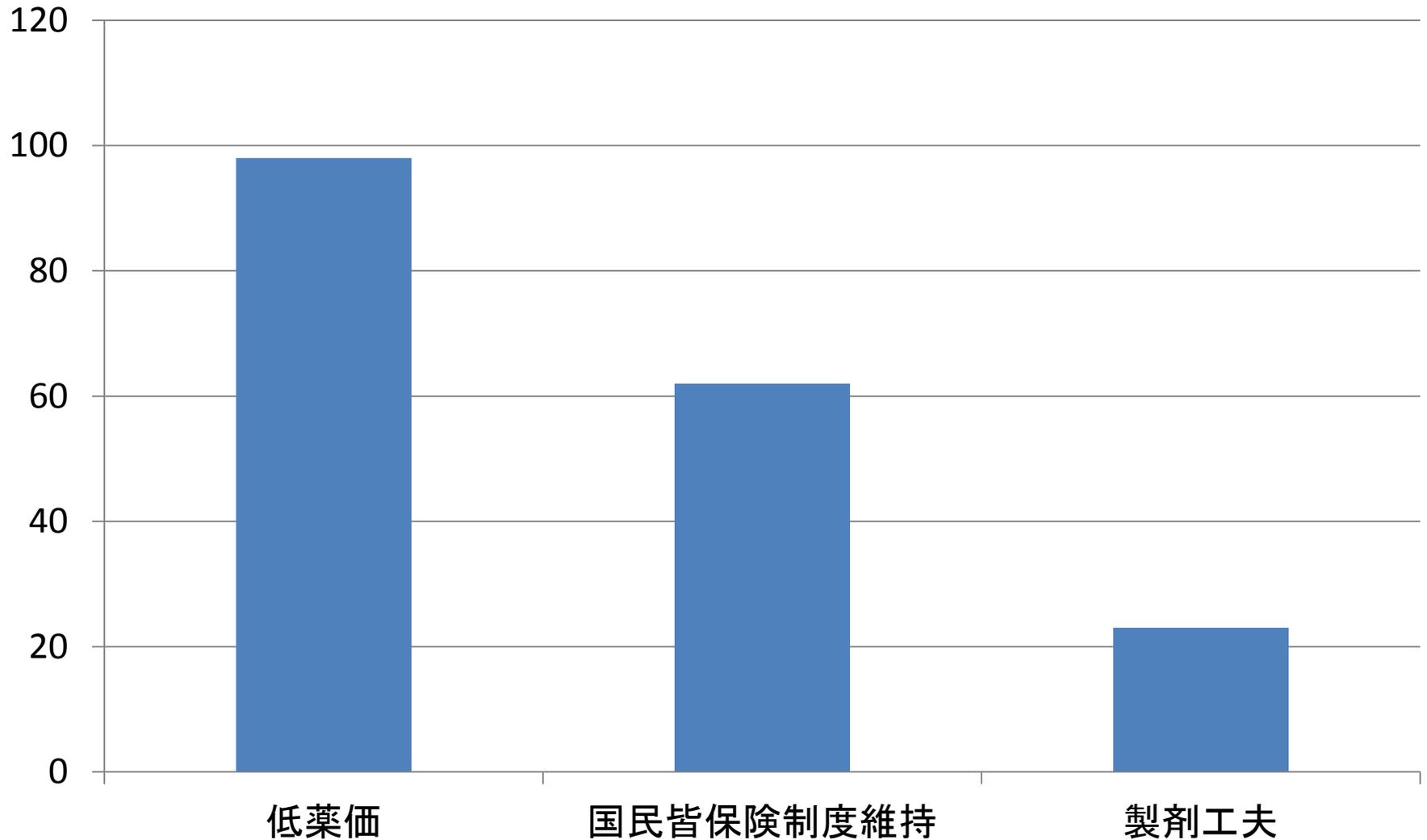
薬局から患者へのアプローチ状況

マル福等公費負担者へも勧めているか

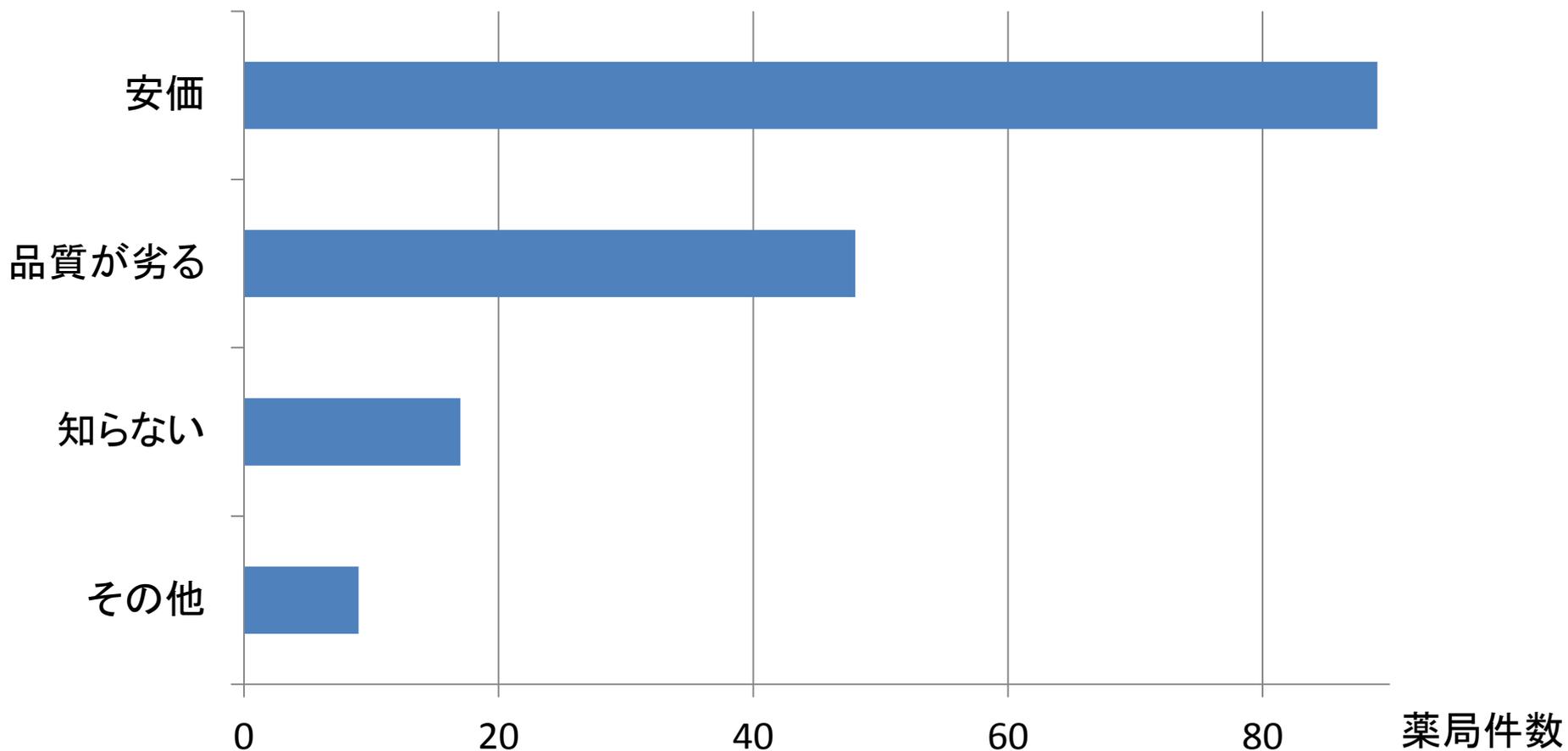


勧めるための説明内容は？

薬局件数

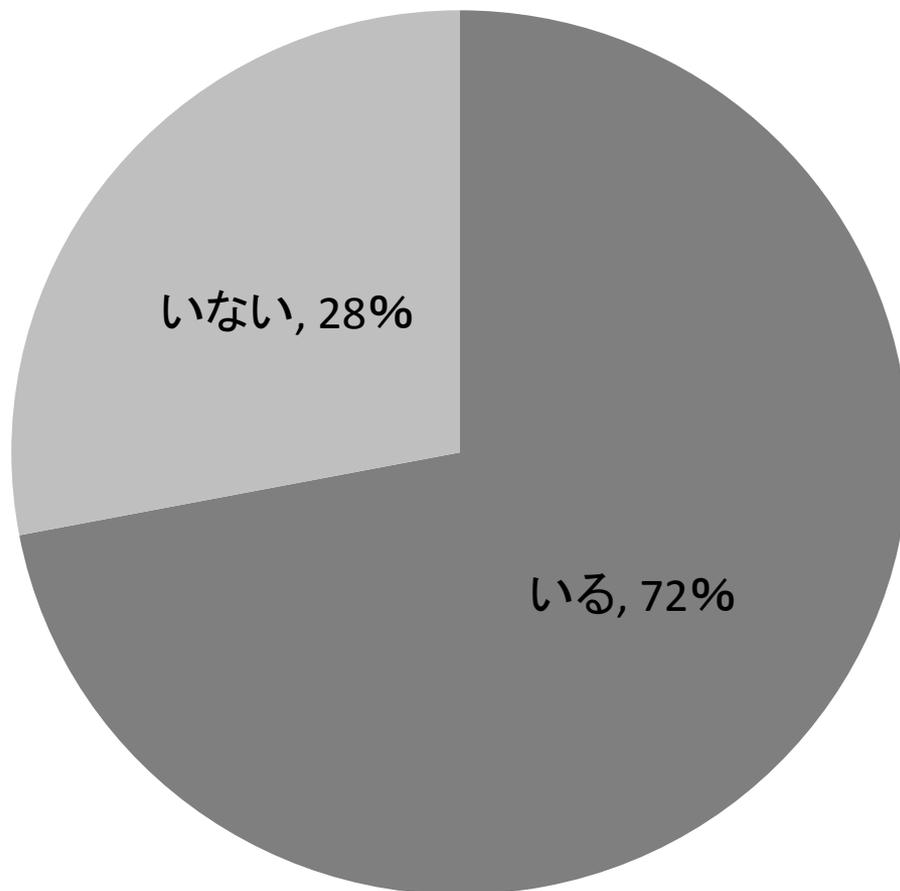


後発医薬品に対する患者観は？

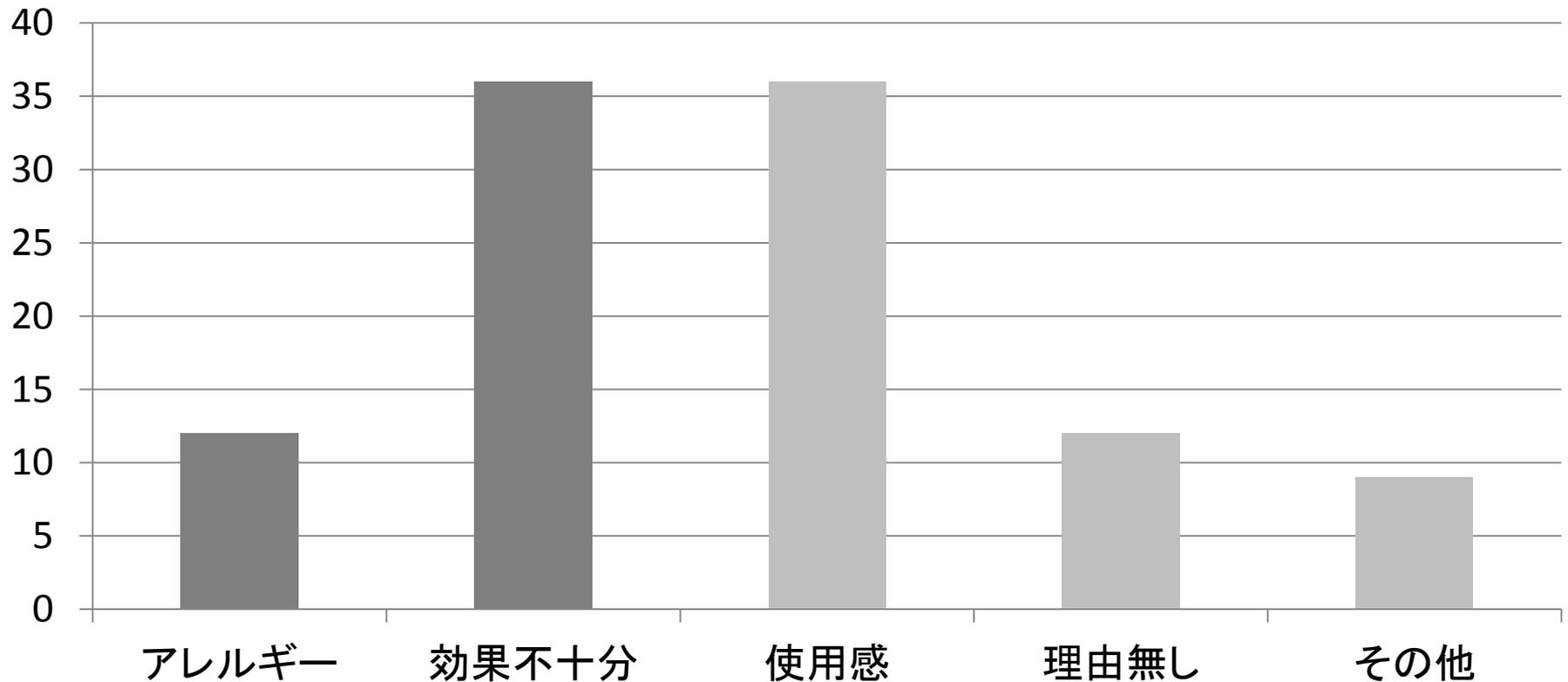


後発医薬品は、安価というイメージが強く、品質が劣るという観念も払拭できていない。

後発医薬品に一度変更したが 先発医薬品に戻した患者はいるか？



後発医薬品に一度変更したが 先発医薬品に戻した理由は？



アレルギー等により、先発医薬品に戻さざるを得ないケースは半分以下であった。

その他意見

- 変更しても患者の金銭負担が減らない時がある。
- さらなるGE率アップには一般名処方が必要
- 医師も、現状GEを知り、一緒に勧めて欲しい
- 不必要と思われる変更不可処方箋がある
- 公費負担による先発品の選択
- 自己負担のない患者に勧めにくい
- 院内採用品がGEになってきた
- 患者も以前に比べてGEに慣れてきた

メーカーへの意見

- GE毎の変更チラシが欲しい
- 納入先, 原料輸入先の情報開示
- 突然の出荷停止
- 納入日が決まっており, 急な注文への対応
- 外用薬の使用感が先発とGEで異なる
- 薬価が元々低い薬剤はGE不要